

# もりおか

## 広報 2017

12月15日号 (No.1471)

◆主な内容◆ (平成29年12月15日号)

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| 写真で見る盛岡の2017              | 2～3ページ |
| 年末年始のお知らせ                 | 4～5ページ |
| 各種講座情報                    | 6～7ページ |
| 健康ガイド、子育て情報ひろば、めぐるちゃん講座ほか | 8～9ページ |
| 技能功労者の紹介                  | 10ページ  |
| ※水道凍結防止チラシを折り込んでいます       |        |

173の事業所が紹介ブースを設け、県内の学生や  
出展者合わせて約2000人規模のイベントに



学生だけでなく出展企業側にも  
笑顔が多く見受けられた会場。  
若手社員らの「等身大」の姿を  
知り、学生は地元企業に親しみ  
を感じていました



企業、学生共に楽しんで  
もらえてうれしいです。今住  
んでいるこの「岩手」の魅  
力を知り、この「岩手」で  
働き輝いてほしいです！

学生実行委員会の  
皆さん、  
イベントを終えてみて  
どうですか？

## 「岩手で働く」を もっとリアルに

「県内に本社を持つ企業を1社も知らない学生が37.3%——」※。  
県内の大学・高校に通う学生らを対象に行われた調査結果から、県内  
企業の認知度の低さが分かります。この状況を打開しようと、県内  
の学生と地元企業などが情報交換する「ふるさと発見！大交流会 in  
Iwate 2017」が11月19日、岩手大（上田三）で初開催され、大勢  
の来場者でにぎわいました。主催は学生の地元定着に大学や県、市町  
村、産業関係者が連携し取り組む「ふるさといわて創造協議会」な  
ど。中でも学生8人による学生実行委員会は企画運営に若者の視点  
を取り入れ、イベントを支えました。イベントのPR動画は企業を実際  
に取材して制作し、岩手の仕事のリアルな一端を紹介したり、当日の  
会場ではスーツ着用を禁止して堅苦しさをなくしたりなど工夫。来場  
者から「地元企業の生の声を聞くことができた」「企業の説明も  
親しみやすかった」といった充実の声が多く聞かれました。

※いわてで働く推進協議会（会長・達増拓也県知事）  
による「29年度岩手県の若年者雇用動向調査結果」

岩手で働く皆さんを見て、自分の  
未来について考えることができた  
。来年度以降も、岩手を知って  
もらえるイベントにしたいです

岩手に来て3年目ですが、  
新しい岩手を知って触れる  
機会に出会えてとてもうれ  
しいです。岩手ってなかなか  
かやるなって思いました

岩手に生まれ、岩手で育ち、こ  
の大交流会に携わったことを誇  
りに思います。岩手人の一人と  
して、これからも豊かな岩手の  
姿を伝えていきたいです



熊上さん考案の  
ロゴデザイン

進行方法などで課題もあり  
ました。来年度につなげてい  
き、岩手への定住率を上げ  
る手助けがしたいです！

価値ある経験でした。次  
回もたくさんの方に岩手  
の魅力を伝えたいです

岩手をもっと好きになり  
ました。自分の好きなデ  
ザインという立場で関わ  
ることができ、貴重な経  
験になりました

元気がいっぱいの実行委員長！  
全体を取りまとめました

岩手大3年  
大村 由莉香さん

さまざまな活動の取りまとめを  
担当。当日はプログラムを説明

県立大2年  
新屋 紗穂さん

実行委員会の議事を  
まとめるなど幹事的存在。  
当日は司会進行担当

岩手大3年  
古川 静香さん

県立大2年  
加倉 侑輝さん

リーダーシップを発揮。  
当日は司会進行を務め  
ました

岩手大3年  
熊上 まりなさん  
ポスターやロゴマークなどの  
デザインを一手に担当

岩手大3年  
八幡 清佳さん

プロモーションビデオへの  
出演を機に実行委員会に参加

盛岡と一関は距離は離れ  
ていますが、同じ目標を  
持った仲間たちと仕事が  
できて、とてもよい刺激  
を受けました

一関高専5年  
たかの  
立野 嵩陽さん

ウェブ制作担当。会議には  
インターネット電話で参加

出展企業を取材し、  
配布冊子にたくさんの方の  
企業紹介を執筆

県立大2年  
浅井田 望美さん